

「安全で質の高い業務」

2013年5月9日

公益社団法人 日本航空機操縦士協会
小林宏之

安全も質もチーム力で

- 仕事はヒューマンエラーとの闘いでもある
- ヒューマンエラーは減らすことはできてもゼロにはできない
- 例え、ヒューマンエラーが発生してもチーム力で事故やインシデントを防ぐことができる
- 安全も仕事の質もチーム力で確保する
- チームとして安全で質の高い業務を遂行するには、リーダーシップの発揮が重要である

リーダーシップ

- 仕事の成果はチームを構成するメンバーの行動によって決まる
- リーダーシップは、他の人の行動に影響を与える影響力でもある
- チームのリーダーはメンバーに対して影響力を行使する
- メンバーもリーダーに対して影響力を行使することができる、また行使すべきである

機能・役割遂行型リーダーシップ (Functional Leadership)

- チームのリーダー及びメンバーのひとりひとりには機能や役割がある、それぞれがその機能や役割を確実に遂行することにより安全で質の高い成果が得られる
- 今、求められているリーダーシップはこの機能・役割遂行型リーダーシップである

リーダーのリーダーシップ

- リーダーはブリーフィング等を通じて、メンバーにそれぞれの役割を確認させて、役割を確実に遂行することの大切さと、役割に応じたリーダーシップを発揮し、気が付いたことは何でも勇気を出して口に出すことの大切さを認識させる
- リーダーはメンバーが口に出して言ってくれたことに対して「ありがとう」と素直に言うことによって、リソースを発揮できるチーム形成と維持が可能になる

メンバーのリーダーシップ (フォロアーシップ)

- リーダーシップはリーダーだけのものではなくメンバー各自はそれぞれの専門や役割に応じてリーダーシップを発揮することが求められる
- そのためには、気が付いたことは勇気をもってリーダーや他のメンバーに対して意見を述べるのが大切である

平時と非常時の切り替え

- リーダーにとってのリーダーシップは平時と非常時の切り替えが大切である
- 平時には“After You”
メンバーがそれぞれの役割に応じたリーダーシップを発揮できるようなリソースマネジメントを遂行する（主役はみなさんですよ）
- 非常時には“Follow Me”
強いリーダーシップを発揮して決断し、危機に対応をする

リーダーシップと自己管理

- リーダーシップを発揮して安全で質の高い業務の遂行するためには自己管理能力との深い関係がある
- リーダーもメンバーも、リーダーシップを発揮するためには自己認識と状況を認識をして、チームの目的に向かって自分をコントロール（自己管理）しながら行動することが大切である
- 自己管理の度合いは目的意識（或いは使命感）の強さに比例する

<参考> （機長としての経験から）

リーダーに不可欠な条件

- 自己コントロール（自己管理）
- 健康管理と危機管理
- 持続する強い目的意識
- コミュニケーション力
- 未来を構想するイメージ力
- 情報力
- 判断力
- 決断力
- 謙虚心と自律心

